

1-14

総発第282号 昭和24年5月7日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

海外の技術導入のための資金について(申入)

現下、我国産業再建のための経済9原則実行には科学技術の向上を絶対に必要と存じます。これが為めには外国技術の導入並にこれに関連して科学者技術者を海外に派遣することも又刻下の急務と考えられます。然るにその実現の隘路は一つに懸つて資金なき為めでありますので、本会議は先般第3回総会に於て色々検討しました結果、この際政府に於かれてはその資金として貿易勘定の一部をこれに使用する様取計われたいとの決議を致しました。

就ては本問題の重要性と緊急性とを御考慮下され右実現方御措置願ひ度く存じます。

1-15

総発第286号 昭和24年5月7日

内閣新聞出版用紙割当事務庁

長官 成田勝四郎 殿

日本学術会議会長 亀山直人

新規学術雑誌への用紙割当について(申入)

新規創刊の新聞、雑誌に対しては、久しい以前から用紙の割当が行われていない由であるが、用紙事情も、以前程には逼迫していないと考えられるから、今後、学術に関する雑誌その他の定期刊行物を新規創刊する場合には、速かに用紙の割当を行うよう処置されたい。

右は、4月28日本会議第3回総会において、可決した意見であることを申し添える。

1-16

総発第298号 昭和24年5月12日

人事院総裁 浅井 清 殿

日本学術会議会長 亀山直人

大学における一定の学課修得を職階制上で認定することについて(申入)

大学の学生として在学中に修得した一定の学課については、大学を中途退学して就職し、又は在学中に就職する場合、可能なるかぎり職階制上でこれを認定されるよう配慮されたい。

右は、4月28日本会議第3回総会に諮つて可決された意見であることを申し添える。

1-17

研発第232号 昭和24年7月1日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

経済9原則に即応する鉄鋼技術対策の実施に要する経費について(申入)

製鉄・製鋼に関する技術的研究及び工業化の実施を推進し、鉄鋼生産技術の進歩並に合理化の徹底に強力な指針を与え、これを促進することは、鉄鋼生産に対する補給金を大幅に削減し経済9原則に

即応するために最も効果的であります。

これがためには、製鉄製鋼の劃期的革新を目指す研究の実施が不可欠でありまして、ここに有能な技術指導者を常置し、別紙のような研究組織により緊急に解決すべき諸問題の技術的研究及び工業化を促進することが最も適当と考えられます。然るにこれを実施するためには、146,500,000円の経費を要しますが、問題の最重要性に鑑み、これを貿易見返り資金から融資することが必要であると考えます。

つきましては、この融資が実現しますよう格別の御配慮をお願いいたします。

おつて、このことは、2月27日本会議に設置された第11委員会（経済9原則に即応する科学技術者の活用方策に関する委員会）において、最も緊急を要する問題として同委員会設立以来最重点的に慎重審議の結果、6月27日の同委員会で、全会一致で議決されたものであります。

添附資料 経済9原則に即応する鉄鋼技術対策 省略

1-18

研発第232号 昭和24年7月1日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山 直人

各省所管の科学・試験研究費・委託研究費等に関する調査資料の提出の依頼について（申入）

わが国における科学・試験研究費及び研究組織に関する当面の問題を審議するために、本会議に第一委員会（委員長、尾高朝雄）が設置され、活動しています。ことに研究費に関しては、政府の諮問もありましたので、特に慎重に審議いたしました。政府の諮問は文部省所管のもの（科学研究費交付金・科学試験研究費補助・人文科学研究費補助等）だけでありましたので、この委員会も専らこれについて審議してきました。しかし、科学技術の発達のための政府の援助という問題を全般的に考えるためには、文部省のもののみならず国庫予算の全部に亘り各省のものも広く調査する必要があると思われますので、これがために必要な調査資料を、各省から提出するようお取り計らい下さい。

なお、調査資料作成に当つては、左記を御参照下さい。

#### 記

#### 1. 調査の対象たる研究費

- 1 科学技術に関する研究、試験等の助成その他科学技術の振興を図るために、各省の支出する交付金・補助金
- 2 各省の委託研究費
- 3 大学（例えば講座・研究費）・研究所・試験場等研究機関における本来の（国有の）研究費
- 4 その他、名称の如何を問わず、研究費として支出するもの

#### 2. 調査事項

- 1 研究費の予算上の名称
- 2 昭和24年度の予算額
- 3 その研究費の支出の目的又は趣旨
- 4 従来までの実施状況（概要）